

ほっかいどう 広報紙

北海道が わかる つながる かわる
— 年6回 奇数月にお届けします —



一穴をあけて保存できます

2012
7月
平成24年7月発行
通巻193号

特集 観光で北海道の魅力再発見!

みんなで道内観光を盛り上げ、
北海道をもっと元気に!
旅する楽しみ、迎える喜びを体験しよう。

道民の皆さんが道内観光を楽しむことで、北海道の魅力再発見するチャンスが増え、
旅先での温かい交流の輪が広がっていきます。
身近な感動を求めて、夏の北海道を旅してみませんか。



道内旅行で地域の宝物にふれ、磨き上げ、北海道観光をみんなで盛り上げていきましょう。

北海道知事 斉藤 昭三



「農」とふれあう
グリーン・
ツーリズム

北海道知事認定の
ガイドと
アウトドア体験

おみやげに、
笑顔をお返し
しよう

おすすめコースで
ゆったり旅しよう

北海道観光を支えるのは道民の皆さん。さあ、魅力発見の旅へ。

道内旅行は、身近な発見の宝庫です。

北海道の観光客の約88%を占めるのが道内客(平成22年度北海道観光入込客数調査)で、北海道観光は道民の皆さんの力強い応援によって支えられています。

旅の魅力は、季節や地域ごとに変化に富んだ自然や暮らし、食などに出会えること。旅を通じて身近な発見を楽しみ、北海道のさまざまな魅力にふれてみませんか。

観光は、人と地域を元気にします。

道内旅行を楽しむ人が増えると、これに伴う消費が活発化し、北海道経済も元気になります。また、人が交流することで地域に活気が生まれ、観光客を温かく迎える「おもてなしの文化」もさらに磨かれていきます。

皆さん自身が主役となって道内の旅を楽しみ、あるときはおもてなし役として観光客を迎え、北海道観光を盛り上げていきましょう。

道の観光振興の
取り組みを
紹介します!



詳しくは
中面へ

観光で北海道の魅力再発見!

特集 北海道の旅の楽しみを広げよう!

北海道観光の旬を体験!

道では、北海道の魅力を活かした「滞在型観光地づくり」に力を入れ、道民の皆さんをはじめとする「国内外からの誘客」、人材育成を含む「観光客の受け入れ環境づくり」などに取り組んでいます。

▶特集に関するお問い合わせは、道庁観光局 ☎(011) 204-5302



自然を満喫できるアウトドア体験

●自然との一体感を楽しもう

北海道には、他の地域に見られないほど優れた自然環境があり、森も海も川も、そのすべてがアウトドア体験の舞台として多くの旅人を魅了しています。

アウトドア体験の楽しさは、自然との一体感を味わえること。また、環境や生態系への理解を深めることで、貴重な自然との関わり方を学ぶことができます。

●日本唯一の「北海道アウトドア資格制度」

道では、人材育成の一環として「北海道アウトドア資格制度」に取り組んでいます。北海道の自然の魅力を伝え、ルールを守って安全に楽しんでもらうために、その担い手となるアウトドアガイドや一般活動者を道が認定する制度です。

北海道知事認定のアウトドアガイドは、登山、自然観察、カメラ、ラフティング、乗馬の5つの分野で活躍しています。豊富な知識と確かな技術を持つガイドと一緒に、とおきのアウトドア体験を楽しみましょう。

北海道アウトドア資格制度

動植物にも目を向け 夏山の自然を体感しよう

北海道知事認定山岳(夏山)ガイド 札幌市 北海道K&Uチアアウトフィッターズ 佐藤 瑞季さん(札幌市)



山岳をはじめとする北海道学、応急救護などの試験に合格し、北海道アウトドアガイド資格を取得。初心者も安心して楽しめる登山の企画やガイドを務めています。道内の山は登山口から頂上までの高低差が大きく、



佐藤さんのガイドで登山を楽しむ参加者

変化に富んだ自然を満喫できるのが魅力です。夏山を安全に楽しむには、事前の準備と体調管理が重要。登頂の達成感だけでなく、動植物や風景にも目を向けると、北海道の夏山の魅力を体感できると思います。

「農」とふれあうグリーン・ツーリズム

●農村の暮らしを体感しよう

自然と調和した牧歌的な農村景観は、北海道の大きな魅力。グリーン・ツーリズムとは、農村の自然や文化にふれ、そこに暮らす人々との交流や体験などを楽しむ活動のことです。

都市部の人々がさまざまな体験を通じて農業への理解を深めることで、北海道の安全・安心な食への信頼感が高まるなど、都市と農村との交流にも役立っています。

●全道に広がる「ふれあいファーム」

道では、都市と農村との交流に意欲的な農場を「ふれあいファーム」として登録し、道民の皆さんが気軽に訪問できる交流拠点として利用を進めています。

「ふれあいファーム」の登録を受けた農場は全道各地にあり、農作業体験、手づくり体験、収穫体験、農産物直売など、さまざまなメニューがあります。地域の特色を活かした個性豊かな「ふれあいファーム」を訪問してみませんか。

ふれあいファーム

▶道庁農村設計課 ☎(011) 204-5397

「ふれあいファーム」はこのマークが目印



心に響くふれあいから 風土が育まれます

「ふあ〜むいん」富田 経堂 富田 重義さん 富田 キクエさん(黒松町)



黒松町初の農家民宿として平成23年春にオープン。長年の国際交流活動で多くの外国人をお迎えしてきた経験から、家族の一員として飾らずに接するほうが、来訪者もリラックスして暮らしに溶け込めるようです。



秋の収穫時期に楽しめるイモ掘り体験

一緒に料理をつくって食べたり、ブナ林散策や川釣り、収穫体験を楽しんでいるときの来訪者の喜び顔が私たちの励みになります。来訪者は外から知恵を運んでくれる「風」、お迎えする私たちは「土」。その両方によって育まれるのが「風土」と思います。

おみやげに、笑顔を渡そう



おもてなしの心で迎える 「観光ホスピタリティ運動」

観光ホスピタリティ運動のイメージキャラクター ホスピイ

近年、アジア地域を中心に、北海道を訪れる外国人観光客が増えています。道では、観光客受入研修会などの人材育成事業を通じて、国内外の観光客が安心して快適に観光できるよう、受け入れ環境づくりを進めています。

特に、旅先で受けた温かいおもてなしは、訪れた土地への愛着につながります。「また来たい」と観光客に感じてもらえる環境づくりを目指し、道では「おもてなしの心」を持って観光客をお迎えする「観光ホスピタリティ運動」を道民の皆さんに呼びかけています。「お客さまを思う心」を大切に、観光客に思いやりを持って接しましょう。

- 道を聞かれたら、ていねいに案内しよう
- 観光客が困っていたら、声をかけよう
- 記念撮影のお手伝いをしよう
- まちの魅力を知り、観光客に伝えよう



北海道デスティネーションキャンペーン

7月1日(日)～9月30日(日)

道では、北海道観光の魅力を全国に発信して観光客の誘致を進めようと、関係団体との連携による「北海道デスティネーションキャンペーン」を実施中です。

キャンペーンでは、ゆったり楽しめる旅の提案として地域別のおすすめコースを多数紹介しているほか、道内6エリアで「地域限定特別企画」を順次開催しています。インターネットで北海道観光の最新情報を発信する「キュンちゃんねる」など、旅の楽しみを共有できる連動企画もあるので、ぜひアクセスしてみてください。

キュンちゃんねる



北海道デスティネーションキャンペーン イメージキャラクター キュンちゃん

地域限定特別企画

地域	内容	地域	内容
石狩	土地の味を楽しむ旅バスツアー ※9/14～30開催 ※地旅…地域の方々からおもてなしを受ける旅	十勝	大平原でスイーツ&ガーデンを巡って、ばんえい十勝も楽しんじゃおう! ※期間限定「めぐり券」で「幸福駅ストラップ」プレゼント…8/29～9/9開催 ※ばんえい十勝 模擬レース開催 7/20～9/28の毎週金曜開催(8/10・17を除く) ※SL十勝号の出発式…8/31開催
富良野・美瑛	富良野・美瑛で満喫! 楽しいイベントとキュンとくるグルメ ※北海道まつりへそのまち グルメグランプリ…7/28・29開催 ※ふらのワインぶどう祭り…9/16開催	釧路	タンチョウ・マリメ60th 遊園トラベルinくしろ ※9/30まで開催中
オホーツク	オホーツクわくわく館スタンプラリー ※9/30まで開催中	根室・知床	日本列島最東端で、秋のグルメ祭りを満喫しよう! ※9/1～30開催

北海道のワイン&チーズで食観光

道では、食クラスター活動の一環として、北海道のワインとチーズにより、新しい食文化づくりを目指す「VINFROMAGE HOKKAIDO」の取り組みを進めています。

取り組みから生まれた、北海道のワインとチーズを楽しむための物語集をインターネットで公開中です。

VINFROMAGE HOKKAIDO

▶道庁食関連産業室 ☎(011) 204-5979



北海道のワインとチーズを楽しむ!

カンタン3カ国語指さし会話集

道や関係機関が共同で作成した「カンタン3カ国語指さし会話集」は、外国人観光客への接客や道案内などに役立ちます。英語・中国語・韓国語の会話文を指さすだけでコミュニケーションを取ることができ、言葉を話せなくても「おもてなしの心」を伝えられます。インターネットでダウンロードしてお使いください。

カンタン3カ国語指さし会話集



お届けします!

赤れんが

道からのお知らせです。お問い合わせは ▶マークの窓口、またはホームページへ。

暑くなったら要注意

食中毒を防ぎましょう

夏になると、気温や湿度が高くなって食中毒が発生しやすくなります。未然に防ぐためにも、次のことに注意しましょう。

●食品衛生の心得

- 調理と食事前、用後は手をよく洗う
- 生鮮食品は早めに調理する
- 食品は保存温度を厳守する
- ふきん、まな板などの調理器具はよく洗って乾燥させる など



▶道庁食品衛生課 ☎(011) 204-5261

産地地消を応援しよう

北のめぐみ愛食フェア2012

生産者と直接ふれあえる産直市です。交流を楽しみながら、北海道の食を満喫しましょう。

開催地	会場	日程
札幌市	道庁赤れんが庁舎前庭	7/18～20 8/22～24 9/19～21 10/17～19
	札幌駅前通地下広場	8/6～10、9/3～7 10/1～5、11/5～9 12/3～7
江差町	いにしえ街道 姥神広場	7/21、8/4・18 9/1・15、10/6・7
小樽市	ウイングベイ小樽	9/16・17
旭川市	旭川市7条買物公園	7/14・21・28 8/4・11・18・25 9/1・8
留萌市	留萌地方卸売市場	7/29、10/14

※日程等は変更になる場合があります。

▶北のめぐみ愛食フェア実行連絡会 ☎(011) 233-4440
▶道庁食品政策課 ☎(011) 204-5429



緑化事業に参加して「森づくり名人」に

みどりのポイント事業

「道民1人30本植樹運動」の一環として、平成23年度からスタートしました。道や市町村、緑化団体などの行事に参加するとポイントがもらえ、50ポイントで「森づくり推進者」に、80ポイントで「森づくり名人」に認定されます。



●行事の種類別獲得ポイント

緑化行事	ポイント
植樹活動(苗木づくりなどを含む植樹事業)への参加	10
育樹活動(下草刈り、つる切り、核打ちなど)への参加	20
森林環境教育事業への参加	5

緑化行事の予定やポイントの台紙はホームページから道庁森林活用課、お近くの総合振興局・振興局林務課または森林室、緑化行事開催団体の窓口などで入手できます。

みどりのポイント事業
▶道庁森林活用課 ☎(011) 204-5516

平和を守る仕事です

自衛官候補生を募集します

自衛官候補生(陸・海・空)の募集を行っています。志願書類は、市区役所・町村役場、または自衛隊各地方協力本部で取り扱っています。

●採用試験/9月 ※詳細はお問い合わせください。

▶陸上自衛隊北部方面総監部 ☎(011) 511-7116(内線2474)
▶道庁市町村課 ☎(011) 204-5152

●怪しいと思ったらすぐに通報

7月は不正軽油防止強化月間

軽油引取税を免れるため、灯油や重油を混ぜるなどした「不正軽油」を販売する事案が絶えない状況にあります。不正軽油は、排気ガス中の有毒物質を増加させ、皆さんの健康に悪影響を与えます。著しく安い価格の軽油を販売しているなどの情報があったら、すぐに連絡してください。

不正軽油ストップ110番 **0800-8002-110**(フリーアクセス)
▶道庁税務課 ☎(011) 204-5062

あなたの行動が、山を傷つけています

高山植物を守ろう

北海道は美しい自然風景を彩る高山植物の宝庫です。しかし、最近では盗掘のほか、記念のため摘み取ったり、うっかり踏んでしまうことによる数が減っています。貴重な高山植物を、未来へ引き継ぐためにも、マナーを守って楽しみましょう。

▶道庁自然環境課 ☎(011) 204-5987

●釧路芸術館 「岩谷徳光◆岩谷光昭◆いのちのバトン」

親子で活躍する動物写真家、岩合阿氏の作品展。命の輝きを見つめた写真芸術の世界を紹介いたします。

●期間 9/5日(水)まで
●休館日/月曜日(7月16日、8月13日、9月3日を除く)、7月17日(火)
●時間/9時30分～17時(金・土曜日は18時まで)
●観覧料/一般600円、高校・大学生300円、小・中学生100円
▶道立釧路芸術館 ☎(0154) 233-2381

道内各地の話題をお届けします。

総合振興局(振興局)

上川総合振興局

「2012大雪カムイミントラ・スタンプラリー」に参加しよう

大雪カムイミントラ・スタンプラリーのロゴ。大雪山に抱かれた上川中部の1市8町(旭川市、鷹栖町、東神楽町、当麻町、比布町、愛別町、上川町、東川町、美瑛町)の観光施設やイベントを巡るスタンプラリーが、ことしもスタートします。スタンプを集めて応募すると、地域の特産品や航空券、フェリー乗船券などが抽選で当たります。ぜひこの機会に参加して、大雪カムイミントラ地域の魅力にふれてみてください。

期間 7月14日(土)～10月8日(月・祝)
▶地域政策課 ☎(0166) 46-5914

留萌振興局

「留萌スペシャルプログラム」発信中!

留萌振興局では、「見る、食べる、遊ぶ、学ぶ」を満喫する体験プログラムを作成しました。これまで調査・発掘した体験メニューを磨き上げた、浜焼き、最北の酒蔵巡り、自然写真家との海鳥観察、地元ガイドと炭鉱跡巡りの4つのスペシャル体験で、地元の人たちと交流しながら楽しめる内容です。留萌ならではの魅力を体験してみませんか。

留萌スペシャルプログラムの魅力
▶商工労働観光課 ☎(0164) 42-8443

釧路総合振興局

「ぐる得パスポート」で釧路の旅を満喫

釧路を楽しむときは、各種クーポンが付いたお得なガイドブック「ぐる得パスポート」をご利用ください。グルメや体験観光情報のほか、映画のロケ地を紹介する「ロケ地マップ」も掲載しています。釧路管内のJR駅、道の駅のほか、JR札幌駅の観光案内所などで配布中です。お得で楽しい旅を体験してください。

▶くしろ圏観光キャンペーン推進協議会(釧路観光連盟) ☎(0154) 41-2111
▶商工労働観光課 ☎(0154) 43-9184

7つの観光庭園が手を結び、野菜畑や酪農風景も北海道の美しい庭としてアピール。

つながる! ひろがる!

北海道物語

花・産業・観光編

炭鉱、鉄鋼、鉄道、港湾をテーマにした産業観光が、新しい人の動きを生み出す。

北海道ガーデン街道

花 × 観光

地域、自然、産業とのつながりから生まれた魅力ある取り組みをご紹介します!

産業 × 観光

炭鉄港2012・北の近代三都物語



北海道ガーデンショーの会場 十勝千年の森

北海道ガーデン街道とは、旭川市～富良野市～十勝地域にある7つの観光庭園を拠点に、北海道らしい畑の丘や酪農風景を結ぶ全長約200kmの街道のことです。

旭川市「上野ファーム」、富良野市「風のガーデン」、清水町「十勝千年の森」、帯広市「真鍋庭園」「紫竹ガーデン」、幕別町「十勝ヒルズ」、中札内村「六花の森」が連携し、共通チケットの販売や上川・十勝地域で連動した広報活動を行うことで、地域全体の集客力を高めています。季節ごとに変化する花や草木を求めて、何度でも訪れたくなる滞在型観光ルートを目指しています。

ブームで終わらないように、新たな連携も、挑戦も続けます。



北海道ガーデン街道協議会 会長 林 克彦さん

◎北海道ガーデン街道・ガーデンショー共通チケット 2,100円(ガーデンショー+3施設利用可能)
▶お問い合わせ 株式会社北海道ガーデン街道 ☎(0155)63-7777

お手本はドイツのロマンチック街道。単なる観光スポットではなく、地域全体の魅力としてアピールすることで、7つの観光庭園全体の来園者数は2010年の初年度と比べて1.1倍、十勝エリアで1.7倍に増えています。ことしは国内外で活躍するガーデン作家やアーティスト5人を招き「北海道ガーデンショー」を10月8日(月・祝)まで開催。北海道の風土に根ざした、いろいろなテーマのガーデンを楽しむことができます。

明治初期に国内最大級の炭層が発見され、最盛期には100を超える炭鉱がひしめいていた空知地域。そこから石炭を運び出す鉄道と港で繁栄した小樽市、また、空知の石炭を利用した鉄鋼業により日本の近代化を支えた室蘭市。

「北の近代三都物語」は、これら三都のつながりに光を当て、さまざまなイベントを結ぶことで、新たな人の動きをつくり出します。ことしは7月28日(土)～11月11日(日)の期間中に、奔別炭鉱遺跡(三笠市)で行うアート展、小樽手宮線跡地での写真展、室蘭での工場夜景見学などを開催予定です。



アート展の会場になる奔別炭鉱遺跡

道内の人でも知らなかったと驚く、近代産業の記憶を観光に。



道央地域観光戦略会議 会長 吉岡 宏高さん

▶お問い合わせ そらち炭鉱の記憶マネジメントセンター ☎(0126)24-9901

北海道の歴史は浅いといわれがちですが、だからこそリアルに近代を感じることができます。北海道産業の基礎を築いた人の話を聞くことも、廃墟から記憶を掘り起こすことも可能です。アート作品を通じて炭鉱に興味を持ったり、空知、小樽、室蘭の人が交流したり、リピーターやファンを増やす新たな着地型観光に結びつきます。最近では、海外の旧産炭地からの視察も増えています。

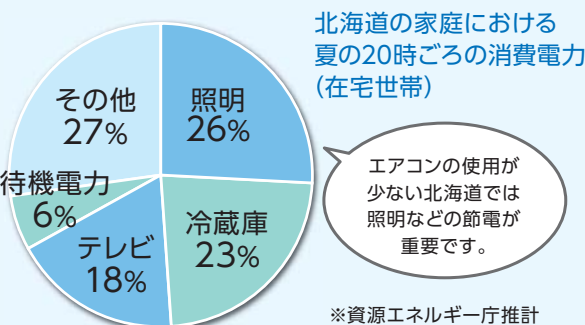
節電へのご協力をお願い

ことしの夏は、全国的に電力需給が厳しく、本道においては一昨年に比べて7%以上の節電が要請されました。道民の皆さんのご協力をお願いいたします。

次の期間・時間帯、一昨年比7%以上の節電をお願いします。

- 7月23日(月)～9月7日(金) 平日9～20時 ※8月13～15日のお盆期間を除く
- 9月10日(月)～14日(金) 17～20時

ご家庭では、特に電気使用量が増える夕方以降(18～20時)のご協力をお願いします。



「節電メニュー」を目安に、合計7%以上の目標にご協力をお願いします。

節電メニュー	節電効果(削減率)
照明 ・使用していない部屋の電気は消す。 ・一部を消す。 ※照明の3割程度を消灯した場合	7%*
冷蔵庫 ・設定を「強」から「中」に変える。 ・扉を開ける時間をできるだけ減らす。 ・食品を詰め込みすぎないようにする。 ※食品の傷みにご注意ください。	2%
テレビ ・画面の輝度を下げる。 ・必要なとき以外は消す。	2%
待機電力 ・リモコンではなく、本体の主電源を切る。 ・長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜く。	3%

※節電効果(削減率)は、在宅家庭のピーク時の消費電力(約700W)に対する削減率の目安(資源エネルギー庁推計)

- 省エネ家電への買い替えや、LED照明への交換も節電・省エネに有効です。
- 消費電力が大きい電気製品は、平日夕方(18～20時)を避けて使用しましょう(電子レンジ、食器洗い乾燥機、ホットプレートなど)



省エネ・新エネキャラクター

※高齢の方、障がいのある方などは、無理のない範囲でのご協力をお願いします。
▶節電に関するお問い合わせ 道庁経済産業振興局環境・エネルギー室 ☎(011)204-5319



環境省 北海道環境宣言

アンケートに答えて道産品を当てよう!

北のめぐみプレゼント!

応募者の中から抽選で30名様に、真っ白で、甘みが強く辛みの少ないホクレンの北見産玉ねぎ「真白」(3kg)をプレゼント!



●当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

次のアンケートにお答えください。

「特集」で紹介したアウトドア体験の分野で、体験したいと思うのはどれですか。(複数選択可)

- ①登山 ②自然観察 ③カヌー ④ラフティング
⑤乗馬 ⑥なし

●応募方法: アンケートの回答、住所、氏名、年齢、電話番号、本紙への意見・感想を記入の上、ハガキ、パソコンまたは携帯サイトでご応募ください。

●応募先: ハガキ 〒060-8588 北海道広報広聴課 携帯サイト 「北のめぐみプレゼント!」係

パソコン 広報紙「ほっかいどう」 検索

●応募期限: 8月3日(金)必着
応募いただいた方の個人情報は、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。

北海道の人口	平成24年3月末	前年同月比
総人口	5,474,216人	24,700減
男	2,592,061人	14,615減
女	2,882,155人	10,085減

※人口は年4回公表される統計資料に基づき直近のデータを掲載しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。次号のお知らせ 9月号は9月5日(水)から配布予定です。

●掲載記事の関連ページ、広報紙アンケート結果、広報紙のバックナンバーなどの閲覧は下記からアクセスできます。
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tkk/k.htm>

広報紙「ほっかいどう」 検索